

「アフリカゾウ繁殖プロジェクト」

セルコホーム ブーパライズ 八木山(八木山動物公園)、秋田市大森山動物園―あきぎんオモリノ森、盛岡市動物公園の3園による、アフリカゾウの繁殖に向けた取り組みがスタートし、9月25日、セルコホーム ブーパライズ 八木山に、大森山動物園からメスのアフリカゾウの「花子」が来園しました。

◀八木山へ来園した花子

国内で飼育されているアフリカゾウは、近年繁殖が見られず、将来的に動物園での飼育や展示が危ぶまれています。このため3園ではお互いの園のオスとメスのペアを入れ替え、新たな環境で繁殖を



▲大森山動物園へ移動したリリー

促そうと、6月に覚書を締結。今回がその第1弾で、繁殖のためのゾウの交換は、全国初の試みです。八木山へ到着した花子は、餌を食べたり水を飲んだり、元気そうな姿を見せていました。今後、新しい環境に慣れさせながら一般公開を目指します。

市政トピックス

特別展「戊辰戦争一五〇年」が開幕

10月26日から12月9日まで、博物館で特別展「戊辰戦争一五〇年」が開幕。また10月15日には、八木山で28年間親しまれてきたメスのアフリカゾウ「リリー」が、大森山動物園へ移動しました。10月6日に開催されたお別れ会では、リリーへ特製ケーキをプレゼント。大勢の来場者が別れを惜しんでいました。

市政トピックス

皆さんのメモリアルをお祝いします

本市の区制施行30年を記念し、若林区では、新しい門出を迎える二人を祝福するため、2種類の区オリジナルの婚姻届を作製しました。11月1日から、若林区役所戸籍住民課で配布を開始します。この婚姻届は、若林区の若手職員を中心に組織された「W.A.K.30プロジェクト」のチームが、企画やデザインなどを担当。オリジナル婚姻届には、地下鉄をモチーフにしたイラストや、地下鉄沿線の名所などの図柄がちりばめられています。作製に当たっては、区民などへのアンケートや区役所内での投票などを実施。寄せられた意

市政トピックス

「晩翠わかば賞」「晩翠あおば賞」受賞者が決まりました

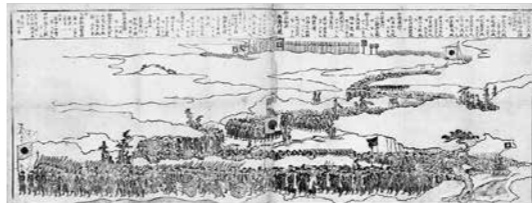
仙台出身の詩人で「荒城の月」などの作品で知られる土井晩翠の業績を記念した「晩翠わかば賞」「晩翠あおば賞」の本年度の受賞者が決定し、10月14日に仙台文学館で贈呈式が行われました。東北6県と国内姉妹都市の小学生の詩作品を対象とした晩翠わかば賞には、伊藤利音奈さん(登米市在住・小学2年生)の「先生のことがば」が、同じく中学生の詩作品を対象とした晩翠あおば賞には小川倫花さん(仙台市在住・中学2年生)の「おまもり」が選ばれました。

年」を開催しています。

薩摩藩、長州藩を中心とする新政府軍と、旧幕府や会津藩を中心とする勢力が戦った戊辰戦争から今年で150年目。この特別展は、戊辰戦争ゆかりの地である新潟県立歴史博物館・福島県立博物館との共同企画として開催し、仙台が最後の開催地となります。奥羽越列藩同盟の旗や、古文書、絵図、武器など、230件余りの貴重な資料が一堂に集結。仙台藩独自の地域資料も紹介しながら、幕府崩壊のきっかけとなった開国から、戊辰戦争の開戦、降伏、その後の歴史までを、仙台藩や東北



◀奥羽越列藩同盟旗(宮坂考古館蔵)



▼会津追討二付仙台様御出陣被遊御行列図(仙台市博物館蔵)

からの視点で紹介しています。

市政トピックス

地域の防犯活動に貢献された方を表彰

幕末・維新期の東北動乱の歴史をぜひご覧ください。(26ページ参照)

市では、長年にわたり地域における防犯活動に取り組んでいる方を毎年表彰しています。10月17日に行われた全国地域安全運動第30回仙台市大会で、9団体・52法人・197人の方々に表彰しました。このうち、防犯功勞団体の表彰は、退任感謝状を贈呈した方は、次のとおりです(順不同・敬称略)。

- 〔防犯功勞者〕 竹田登代子、三浦勝男、今野秀一、佐藤光子、赤井澤イサ子、但木謙一、渡邊剛伯、稲辺政吉、東海林孝、岡田正博、池田力男、遠藤節夫、菅田勝男、遠藤勝男、新妻道彦
- 〔防犯指導隊退任〕 渡辺俊子、江戸三知子、岡元博子、齋藤峯子、大場富美子、大田原紀子、沼倉尚、栗原茂利、渡邊勝男、平正良、高橋正喜、小林文枝、今野裕美子

3.11 震災文庫を

14

東日本大震災を語り継ぐための市民図書館に設けた「3・11震災文庫」。所蔵する約1万冊からよりすぐりの本を「紹介します」。

「地震と独身」



酒井順子 / 著 新潮社

印象的な書名、震災直後に独身の友人が「誰かを守りたい」とつぶやいたことと重なります。震災後、家族のさまざまな物語が聞こえてくる一方、あまり語られなかった独身の姿。不安と孤独、彼らが直面した震災とは？



みやまの女性支援をみぎの会が編集する生活思想社刊

「女たちが動く」東日本大震災と男女共同参画視点の支援」東北福祉大学 図書館司書 主任 八巻 千穂

女性の視点と女性同士の連帯から生まれる活動は、きめ細やかで力強いものです。長年女性支援に携わってきた草の根女性グループが開始した、被災地女性の洗濯を代行する「せんとくネット」の活動は、自らも被災した女性が避難所生活強いられる女性の苦勞を理解し、その心をも洗うものでした。

「結婚していないからこそ誰かのために自由に動けた」と語るフラガール、過酷な環境下で既婚者に代わり働き続けた看護師、ボランティアに身を投じた人や起業した人、仏門に入った人等、被災地の独身をメインに実施した丁寧なインタビューからリアルな彼らの姿がうかがえます。そして、彼らのバラエティーに富む不断の営みと連帯が、復興には欠かせないマンパワーとなるのが分かります。

紹介した本は、市民図書館でご覧いただけます 問市民図書館 ☎261・1585



◀若林区では、高校生の意見も反映(円内はイラストの一部)



▶宮城総合支所には、4種類のスクリーンがあります



愛情咲く宮城地区 アイ 愛子 定義 作遊